

NOBEL ANNUAL REPORT

2025

認定NPO法人ノーベル 2025年度活動報告書



— VISION

子育てこそ、みんなで。

しんどいこともあるけれど、みんなでおもしろがれる毎日を。
家族をこえて助け合える子育てを、もっと当たり前。

— MISSION

すべての家庭に、子育てレンジャーを！

— VALUE

当事者と共に創り、前進し続けます

MESSAGE

「子育てこそ、みんなで。」新ビジョンとともに、家族をまるごと支える挑戦へ。

2009年、「子どもを産んでも当たり前で働ける社会に」というビジョンを掲げノーベルを立ち上げました。その後、16年間ひたすら訪問型病児保育の現場を積み重ねてきました。しかし、時代の変化とともに、子育て支援の枠を超えた「家族全体の支援」の必要性を痛感しています。そこで2025年度、私たちはビジョンを「子育てこそ、みんなで。」へと進化させ、子育て家庭の暮らしをオールインワンでサポートする新事業「まるサポ」を正式にリリースしました。病児保育一本で走ってきたノーベルにとって、2事業を並走する大きな転換の年となりました。



認定NPO法人ノーベル 代表理事 長谷 亜希

右も左もわからない個人の勝手なミッションから始まった活動が、こうして新たな一歩を踏み出したのは、16年間私たちを信じ、支え続けてくださった数多くの皆さまの応援があったからです。心より深く感謝申し上げます。これからも現場の声に耳を傾け、新ビジョンの実現に向けて邁進してまいります。

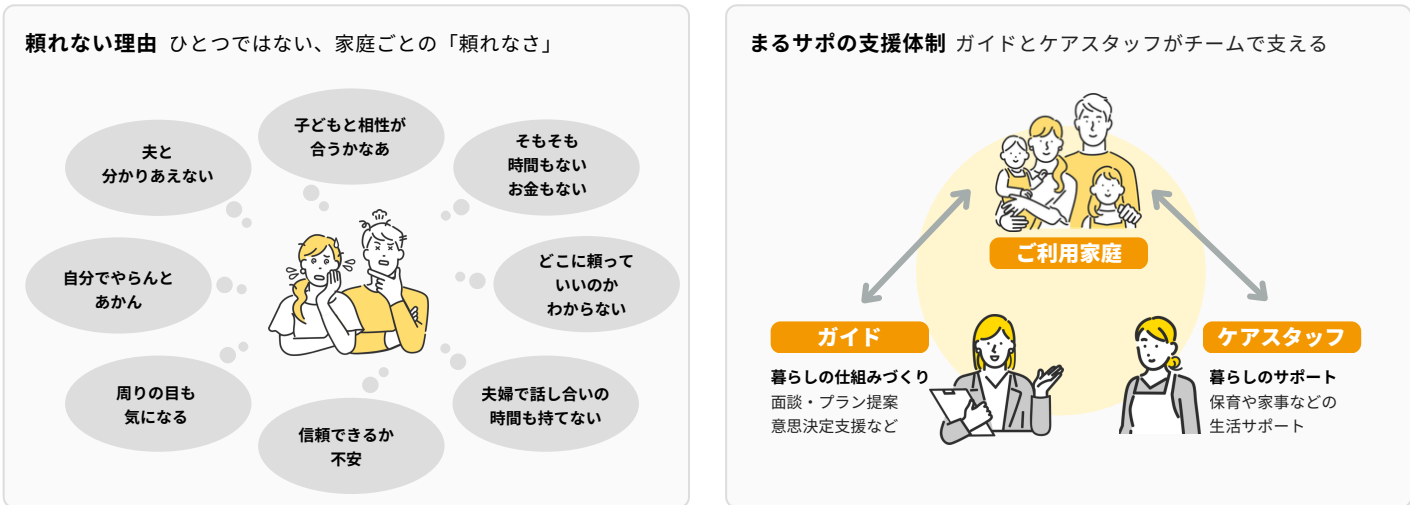
子育て家庭の暮らし全体をオールインワンでサポートする 「まるサポ®」 2025年10月1日 正式スタート

家庭の状況整理から、暮らしがまわわる仕組みづくり、生活まわりのサポートまで子育て家庭の暮らし全体をオールインワンでサポートする「まるサポ」。1年半のモニター期間を経て、2025年10月1日に正式スタートいたしました。事前申込み期間から順調に入会希望家庭が増え、サポート家庭数は半年間で累計58家庭に。相談内容も多岐にわたり「暮らしのサポート」のご利用も想定以上に増えています。行政からの問い合わせや専門機関との連携もあり、「子育てこそ、みんなで。」の実践が少しずつ広がり始めています。



「頼りたくても、頼れない」をなくしたい。

日本では6割以上の方が「子どもを産み育てやすい国ではない」と感じています（内閣府・令和2年度調査）。制度やサービスをいくら充実させても「何をどこに頼めばいいかわからない」「何に困っているのかすら整理できない」。そして、日々の生活がまわらない、夫婦関係もギクシャク、産後うつ、不登校といった相談が後を絶ちません。まるサポは、そんな孤立する家庭に寄り添います。「暮らしの仕組みづくり」と「暮らしのサポート」で家庭ごとのリアルに向き合い、一緒に解決策を考えサポートまで入ることで、少しずつ家庭が変化していくことを実感しています。



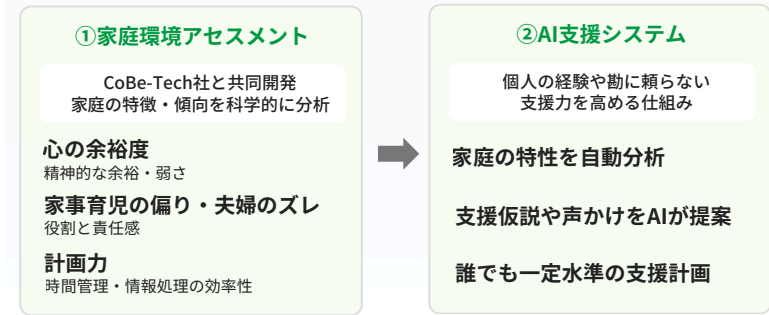
MEDIA

NHK「おはよう関西」（2025年12月8日放映）にて「まるサポ」が紹介されました。「認知・行動経済学を活用 AI使った子育て支援」

日本初 科学的根拠に基づく、その家庭に合わせた支援。AI活用で、分析・提案力・再現性を高める。

行動経済学や心理学等をもとに、大阪大学発ベンチャー CoBe-Tech社と共同開発したアセスメントツールで、ご家庭の特徴・傾向11タイプ×特性7タイプ×計画性7タイプに分析。ガイドは、アセスメント結果や面談内容をAIでさらに解析しサポート方法を提案・プランニングします。個人の経験や勘だけに頼らず、誰が担当しても科学的根拠に基づく質の高い支援を、より多くの家庭に届けることが可能になりました。

科学的根拠に基づく、その家庭に合わせた支援



USER CASES

なにひとつ同じ困り事はない。

それぞれの家庭に寄り添うからこそ、少しずつ着実に"変化"が。



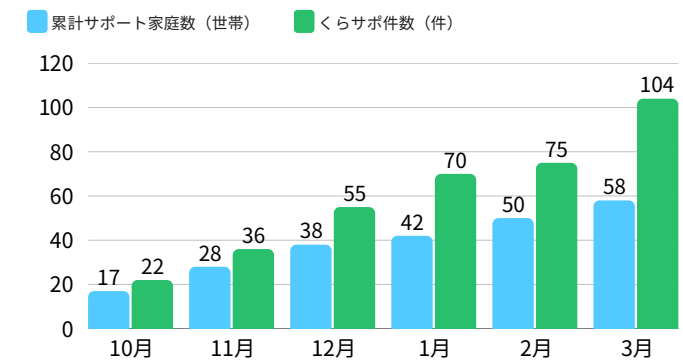
Five case studies (CASE 01 to CASE 05) detailing family situations, problems, support provided, and positive changes. Each case includes details about family size, specific issues, and the impact of the support.

現場を深く知るスタッフが、チームで知恵を出し合う。

訪問型病児保育で培った現場目線が、まるサポの土台です。子どもの様子、親御さんの言葉の奥にある気持ち、家庭のリアルな状況「今」を丁寧に汲み取り、自ら考えて動けるスタッフが担います。各家庭には複数のスタッフでチームを組み、あらゆる角度から状況をとらえながら知恵を出し合うことで、その家庭に合ったサポートのアイデアや選択肢が広がっていきます。



まるサポの広がり（2025年10月～2026年3月）





いつでも頼れるという安心感を、 一件でも多くのご家庭に

過去最高のお預かり件数となった2025年度。一件一件の丁寧な保育で創業以来16年連続95%以上の総合満足度を維持することができました。新エリアへの展開や新たな行政との連携も始まり、もしもの時の頼り先としてサポートを必要とする家庭に安心を届けています。

TOPIC 1

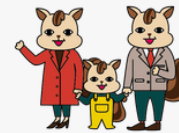
「誰が来ても安心できる」
積み重ねてきた信頼

会員満足度
(16年連続95%以上) **98%**

「誰が来ても安心してお願いできる」「病気のたびに『ノーベルさん来る?』と楽しみにしている」
会員様からそんなあたたかいお声をたくさんいただきます。病気はしんどいけれど特別な時間を過ごしてほしい、25年度も会員様によるこぼれる保育と信頼を積み重ねていくことができました。

「来てくださった方が優しい方だったので、まず親子でホッとしました。息子もすぐに懐いて、自分から近づいていったのにはビックリです！保育記録がとても丁寧で、仕事でも安心して過ごすことができました。」

尼崎市 会員様 1歳男の子



TOPIC 2

増え続けるニーズに、当日朝
予約でも駆けつける

病児保育
お預かり件数
3,510件

げんきっ子保育
お預かり件数
165件

インフルエンザが2度も警報・注意報レベルに達するなど、感染症流行の拡大もあり、過去最高水準の予約件数となりました。すぐに入会することが叶わずお待ちいただく時期もありましたが、メンバーが一丸となり体制を強化。病児保育を必要としているすべての家庭に保育を届けることをあきらめず、真摯に向き合い続けました。元気なお子さまをお預かりする「げんきっ子保育」のご利用も2024年度より大幅に増加しました。



TOPIC 3

エリア拡大と新たな行政連携
で、もっと利用しやすく

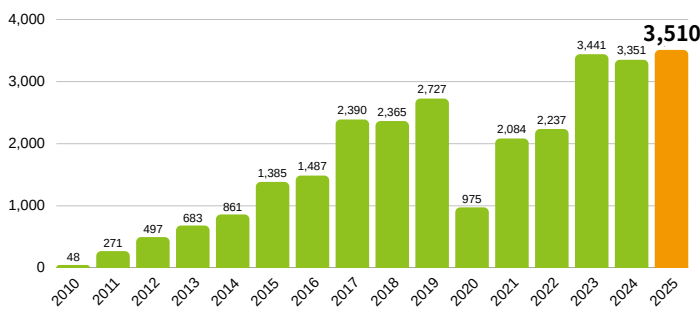
京都でも「当日朝予約で対応」を実現

「京都にもノーベルに来てほしい」という長年の声に応え、4月から京都でサービスを開始。病児保育施設が比較的少ないエリアが多い中、当日朝の予約でも駆けつけるノーベルは大変よろこばれ、会員様も着実に増えています。

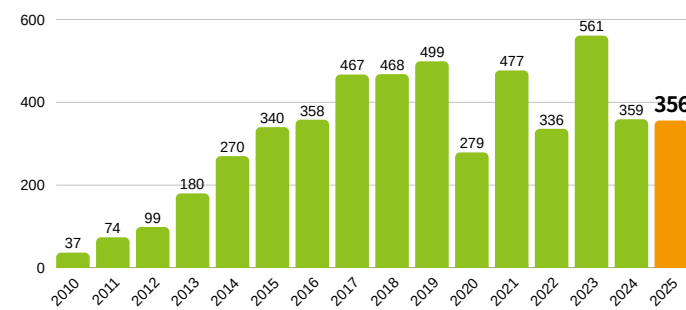
多くの家庭が利用しやすく
「尼崎市パック」開始

これまでの実績と専門性が評価され、兵庫県下の自治体で初となる共済型の訪問型病児保育事業をノーベルが受託。「尼崎市パック」を10月より開始しました。第2子以降の月会費半額などの特別料金体系で、様々な家庭が安心して利用できます。

病児保育お預かり件数 (単位: 件)



新規入会者数 (単位: 人)



TOPIC

会員様も保育スタッフも、準備の負担を軽減しより安心な保育を。

保育前に記入する「保護者からの連絡票」をWEB入力に移行しました。これは以前より会員様からのご要望が多く、移行後は準備の負担が減ったとお声をいただいています。保育スタッフにとっては、事前にお子さまの症状などを詳しく把握した上で訪問できるようになりました。互いの負担を減らしながら、より安心・安全な保育につなげる改善を日々行っています。

職種や役割の垣根を越えて、 互いを信頼し、ともに創る組織へ

職種やチーム、組織内外など、立場や役割を越えて、それぞれの経験と可能性を最大限に発揮しながら2つの事業を推進するという新たな挑戦が始まりました。そして、組織のあり方を本気で問い直す1年でもありました。



担い手の学び・つながり創出

学び・ノウハウ蓄積

組織全体でAI導入が加速
現場の知恵が詰まった対話をすぐに集約し実践へ

保育中の気づき、うまくいった関わり方、ヒヤリとした瞬間など、スタッフ同士は日々の「スカット委員会」や研修、バッジ活動を通じて学び合っています。そこで話された内容や学びをAIで集約し、社内SNSでその日のうちに組織全体へ共有。共有された知恵やノウハウは独自のAIシステム『ノーベル先輩』に蓄積され、誰もが最新かつ最適な情報を保育現場でいつでも引き出すことができます。ノーベルらしい質の高い保育と組織の財産となっています。

バッジ制度

挑戦を後押しするバッジ制度がさらに充実

- 新人研修指導
- 救急救命MFA指導
- 保育ケース対応
- 屋コード

バッジ制度は、保育を担うスタッフが自ら手を挙げ役割を担う仕組みです。経験年数に関わらず誰もがチャレンジできます。2024年度の導入から1年、自分の得意や関心に応じて担える役割が広がり、「やってみたい」「やってみよう」が現場に根づいてきました。一人ひとりの挑戦や工夫の積み重ねが、個人のスキルアップだけでなく、組織や事業をともに創る力になっています。

担い手の輪

この仕事や組織の魅力に惹かれて
仲間がもう一度集まってくる

事業を広げるには、保育や家庭支援の担い手の確保は最重要課題です。アルムナイ採用やリファラル採用を強化し、一度ノーベルを離れた方が再び戻ってくるケースも複数ありました。「子どもと関わると元気になる」「無理なく働け、誰かの役に立てる」——この仕事ならではのよきと、仲間を大切にしているノーベルの文化に惹かれ、再び活躍しています。

2事業連携

家庭を中心としたよりよいサポートを
2事業が連携しやすい仕組みづくり

病児保育とまるサポ、各事業に関わるスタッフがひとつの家庭についてともに考える機会が増えています。事業の枠を越え家庭を中心とした支援のカタチを対話する中で、これまでの制度や仕組みの課題も見えてきました。両サービスの予約状況とその日のシフトを連携させて最適なマッチングを行う仕組みや、それぞれが自分のライフステージに合った働き方を選べる制度整備も進んでいます。



組織づくり

「誇りをもって働くとは？」
世界が注目する自主経営組織 ビュートゾルフへ

「信頼にステップはない。一人ひとりのあり方から始まる」
オランダの世界最大規模の訪問看護組織「ビュートゾルフ」。ティール組織の書籍でも紹介され世界中から視察が訪れます。約1.6万人のスタッフが管理職なしのフラットな小チームで自律的に動き、従業員・顧客満足度ともに高水準、管理コストはわずか8%（業界平均の1/3）。本当にそんなことが可能なのか、その問いを確かめに2025年9月現地を訪問。自分の意思で判断し生き生きと働く人たちの姿に出会いました。本部が決めた現場をルールで管理する形から、現場が主体となり支援を担う自主経営組織へ——ノーベルの新たな挑戦が始まります。



国内初の挑戦

支援の担い手から、
支援を応援する側にも

2026年2月、ノーベルは「近畿四国ソーシャルインパクトファンド」への出資を決定しました。認定NPO法人が出資型インパクトファンドに参画するのは国内初※の挑戦です。事業活動で積み重ねた資産の一部を活用し、これまで「支援を届ける担い手」として活動してきたノーベルが、志を同じくする仲間や地域社会へ知見と資産をつなぐ新しい一歩です。

一つの団体の力だけでは生み出せる変化には限りがあります。ファンドを通じて自分たちだけでは届けられなかった領域にも変化をもたらし、地域を越えて「子育てこそ、みんなで。」の輪を広げていきます。

※自社調べ。認定NPO法人がLPとして出資型インパクトファンドに参画する事例として。

「子育てこそ、みんなで。」の輪を、 もっと多くの人と広げていきたい

ご支援いただく方々とながり、絆を深めていくことができました。ノーベルがめざす未来に思いを寄せ、応援して下さる輪は着実に広がっています。その力は事業をさらに前に推し進め、子育て家庭に届いています。

2025年度 寄付総額 **30,344,102円** (2025年4月～2026年3月)



みんなで病児保育支援を、どの親子にも。「ドノ親子ニモ応援団」プロジェクト

経済的に困難を抱える「ひとり親家庭」には月会費を安価に、お預かりに専門性が必要な「スペシャルニーズっ子家庭」にはオプション料金を無料に。どの親子にも病児保育のサポートがいきわたるよう、応援団員（マンスリーサポーター）の皆さまからのご寄付で支え合うプロジェクトです。

ドノ親子ニモ応援団 病児保育マンスリーサポーター（継続寄付）

継続寄付者 **144名**

- べんぎん ¥1,000/月 **87名**
- ぼんだ ¥3,500/月 **27名**
- しろくま ¥7,000/月 **12名**
- くじら ¥10,000/月 **18名**

サポート法人一覧（50音順）

法人寄付 **35社**

EPSホールディングス株式会社 一般財団法人H2Oサンタ 一般社団法人日本子育てNPO支援協会 医療法人ラ・コール会 NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 億智栄法律事務所 株式会社AMBACS 株式会社イーモード 株式会社セブン 株式会社電力情報センター 株式会社東海製作所 株式会社ヒカリエネクス 株式会社ファミリー工房 株式会社blue 株式会社ベネフィット・ワン 株式会社ホケンサービス 株式会社みずほ銀行 喜治塾 キャリアアップ・ラボ株式会社 行政書士事務所まもり 合同会社ニュートラル コングラント株式会社 The UK Online Giving Foundation GGC 住友ファーマ株式会社 ゼロアート ソフトバンクモバイル 東京海上日動火災保険労働組合 特定非営利活動法人日本こども支援協会 日ポリ化工株式会社 日本生命保険相互会社 上野支社 日本マッソージ師支援協会 すまいるサポートCLUB ピーアールソフト株式会社 フクシマガリレイ株式会社 LINEヤフー株式会社

ご寄付による病児保育サポート実績

	ひとり親家庭	スペシャルニーズっ子家庭
累計サポート者数	497名 (のべ)	118名 (のべ)
2025年度 新規サポート者数	28名	6名
2025年度 お預かり件数	194件 (のべ)	142件 (のべ)



サポートを受けた会員様からのお声

頼れる親族もなく養育費もないため仕事を休める状況ではなく、子どもが病気のとき傍にいてあげたい気持ちと生活という現実との折り合いがとても辛かったです。八方塞がりのどうしても休めないときに頼れる場所があるという安心感に大変救われました。サポートして下さる方々のおかげで腐らずに頑張ってきました。本当にありがとうございます。

ひとり親家庭 Kさん



下の子は発達に特性があり入会できるか不安でしたが、事前面談や入会後も都度状況を共有していただき安心してお願いできました。前日20時までの予約で翌日対応してもらえるので、体調不良の予兆がある時点で予約でき、仕事に穴をあけずに済んでいます。育児をしながら仕事も諦めずに過ごせることがとても幸せです。

スペシャルニーズっ子家庭 Wさん



ノーベルの活動全体にご支援いただいた寄付と活動実績

2025年度 単発寄付金額 **24,167,102円**

個人 (のべ) **113名** 法人 **24社**

まるサポ活動実績 (25年4月～26年3月)
面談数 **96** 暮らしのサポート件数 **531**

ご寄付・助成により実現した主な取り組み

FONDATION CHANEL

CHANEL財団様

まるサポ事業開発と組織基盤づくり

2023年から助成を受け、まるサポ事業の調査・研究、事業開発、モニター実施から正式リリース後の環境整備・担い手研修まで、一貫した取り組みを実現。さらに追加の助成もいただき、ビジョン実現を加速する組織基盤づくりにも本格的に着手しました。ノーベルの新たなステージを支えていただきました。

公益財団法人トヨタ財団

トヨタ財団様

頼れる社会と家族支援モデルの構築

ノーベルを中心団体とするプロジェクトチーム「チームみんなで子育て」が、トヨタ財団2025年度特定課題「人口減少と日本社会」の助成先に採択。「制度やサービスはあるのに届かない」構造的要因を調査分析し、家族支援モデルの構築と政策提言を目指すプロジェクトです。まるサポの実践知を社会に広げる大きな一歩となります。

次世代に想いを託す、遺贈寄付

2025年度、ノーベルとして初めての遺贈寄付の事例が生まれました。「子育て支援に役立ててほしい」という思いを大切に受け取っています。また、金融機関や士業関係のみならず連携し、講演なども行いました。今年も遺贈寄付冊子「えんぎフト」に掲載され、ご相談も増えています。



電気代が、子育て支援につながる

環境にやさしい再生可能エネルギーを扱う「テラエナジーでんき」の寄付先団体『ほつと資産団体』にノーベルが選ばれました。毎月の電気代の一部で子育て支援や環境保全などの活動を応援できる、資産が循環する仕組みです。電力会社を切り替えるだけで自動的にノーベルへの支援につながります。



TERA Energy

2025年度の活動トピックス

活動報告会 2025年8月

寄付者様にお集まりいただき、新ビジョンへの想いやまるサポのご紹介・今後の展望を代表からご説明。活動を広げるアイデアをグループディスカッション。ご支援者ならではの熱いご意見に勇気をいただきました。



オレンジウォーク 2025年11月

児童虐待防止推進月間のチャリティウォークに初参加。期間中の合計歩数が寄付につながる仕組みで、参加者822名・総歩数104,667,305歩に。集まったご寄付はひとり親家庭の病児保育支援に活用します。



「子育てこそ、みんなで。」を、一緒に広げませんか？

自然に頼り合い、希望を持って子どもを産み育てられる社会を実現するために応援団を募っています。ぜひあなたのお力をお貸しください。



ご寄付・ご支援はこちら
お気軽にご相談ください
<https://nponobel.jp/donation/>

- 1 法人による寄付**
従業員啓発やESG・SDGs活動にも。認定NPO法人への寄付は税制優遇の対象です。
- 2 個人による寄付**
ドノ親子ニモ応援団は月1,000円～。単発も可。確定申告で寄付額の最大40%控除されます。
- 3 遺言による寄付**
遺言書で財産の一部をノーベルへ。少額からでも、相続後でも可能です。
- 4 電気代を寄付**
「テラエナジー」に切り替えるだけ。電気代の一部が自動で支援に。工事不要・WEB完結。
- 5 読み終えた本で寄付**
本・CD・DVDを送るだけ。整理しながら社会貢献「チャリボン」でご寄付いただけます。

2025年度 会計報告

2025年度貸借対照表

科目	金額 (単位: 円)
I 資産の部	
1.流動資産	
現金預金	60,156,359
売掛金	14,582,865
投資有価証券	59,959,368
前払費用	1,360,357
未収入金	3,131,119
仮払金	49,869
流動資産合計	139,239,937
2.固定資産	
(1) 有形固定資産	33,414
(2) 無形固定資産	0
(3) 投資その他の資産	2,500,000
固定資産合計	2,533,414
資産合計	141,773,351
II 負債の部	
1.流動負債	
未払金	13,679,307
未払費用	1,447,914
未払法人税等	70,000
未払消費税等	81,200
前受金	398,606
預り金	1,595,254
流動負債合計	17,272,281
負債合計	17,272,281
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産当	136,346,949
期正味財産増減額	△11,845,879
正味財産合計	124,501,070
負債及び正味財産合計	141,773,351

2025年度活動計算書

科目	金額 (単位: 円)
I 経常収益	
1.受取寄付金	
受取寄付金	30,344,102
33,344,102	
2.受取助成金等	
受取民間助成金	33,902,425
33,902,425	
3.事業収益	
保育事業収益	133,032,340
保育 (ドノ親子ニモ支援)	2,053,509
事業収益	
子育て家庭のまるごとサポート	2,294,107
137,379,956	
4.その他収益	
受取利息	152,324
有価証券利息	2,932,179
為替差益	4,035,585
雑収益	3,894,738
11,014,826	
経常収益計	212,641,309
II 経常費用	
1.事業費	
(1) 人件費	149,469,365
(2) その他経費	52,293,433
201,762,798	
2.管理費	
(1) 人件費	17,041,977
(2) その他経費	5,506,357
22,548,334	
経常費用計	224,311,132
当期経常増減額	△11,669,823
III 経常外費用	
為替差損	69,312
雑損失	13,420
82,732	
経常外費用計	82,732
税引前当期正味財産増減額	△11,752,555
法人税、住民税及び事業税	93,324
当期正味財産増減額	△11,845,879
前期繰越正味財産額	136,346,949
次期繰越正味財産額	124,501,070

用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は124,501,070円であり、下記に掲げるもの以外はすべて用途の制約されていない正味財産です。

(単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ROOT IMPACT	0	424,900	424,900	0	
CHANEL財団	0	33,144,525	33,144,525	0	
クラウドファンディング	2,840,960	0	2,840,960	0	
合計	2,840,960	33,569,425	36,410,385	0	

2021~2025年度の推移 (売上/当期純利益/正味財産)

年度	売上	当期純利益	正味財産
2021	212,524,268	82,073,138	183,710,578
2022	142,203,499	△11,122,483	172,517,889
2023	149,554,452	△32,523,456	139,994,433
2024	209,996,237	△3,573,548	136,346,949
2025	212,641,309	△11,845,879	124,501,070

(単位: 円)



顧問税理士 矢部先生からのコメント

2025年度決算は、受取寄付金の減少により売上高は前期を下回りましたが、本業収益は着実な伸びを示しています。人件費の増加は事業拡大に伴う先行投資と捉えれば、むしろ成長の証といえるでしょう。資産運用は2年目を迎え、まるサポサービスの立ち上げをはじめ、新領域への挑戦を続けていらっしゃいます。経済環境の不透明感が増す中であっても、時代の変化を敏感に捉え、柔軟かつ力強く前進される貴法人の今後の発展を期待しています。

顧問税理士/税理士法人ゆびすい京都支店 支店長 矢部恭章先生